

わが職場

吉原食糧株式会社は、小麦粉の製造販売および倉庫業を主な業種としています。製造している小麦粉は、香川だけに讃岐うどん用途を中心とした商品構成です。また倉庫業では、小麦・大麦・米など政府管掌食糧を中心にサイロおよび低温倉庫で保管しています。設立は昭和25年3月です。生業として明治35年頃より精麦業を営んでいましたが、戦後より製粉業を開始しました。当初は坂出市富士見町に本社・工場を設けていましたが、現在は坂出市林田町に本社・製粉工場そして同市入船町に倉庫・穀物サイロを設置移転しています。

さて安全・衛生面に関してですが、製粉工場およびサイロでは、製造・搬送のため数多くの駆動部分（モーター等）があります。巻き込み事故などの可能性が大変高い職場環境ですが、駆動部全てにカバー（覆い）設置や安全通路の明示により、事故対策に取り組んでき

ました。また業務用小麦粉（25kg）を数多く扱うため腰痛対策も課題です。荷役機械（バッテリーフォークリフト、昇降機、台車）の導入・活用や、従業員同士で体験談を踏まえた腰痛対策を共有しあうことにより対応しています。最近では、工場敷地や製造量の増加に伴い製品を運ぶフォークリフトのヒヤリハットが増加しています。停止線明示やカーブミラーの設置、及び従業員教育で対応しています。が、根本的な対策（動線の改良、フォークリフト以外の搬送機械の利用等）を早急な課題として取り組んでいます。

昭和25年の設立以来お陰様で死亡事故は発生していませんし、労災事故もここ10年発生していませんが、常に危険は潜んでおり、ヒヤリハットの事例はゼロにはなっていません。安全・衛生対策はハード面でもソフト面でも、まだまだ不十分です。そのような状況のなか、当協会活動に参加することにより、数多くの業種の安全・衛生担当者と交流ができました。安全がどれほど大切かとい

うことをあらためて教わり、最新の知識・手法を学ぶことができたのは大変有意義なことでした。工場内設備対策だけでなく全従業員が「この作業は安全か否か」という問題意識を常に持ち続け、共有することが必要です。全従業員が安全安心で働ける、事故のない職場づくりを目指して精進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



(写真) 本社・製粉工場外観

吉原食糧株式会社

代表取締役専務

吉原 元也